

# 「さぬき映画祭 2015」 演劇とのコラボレーション！！

## 「さぬき映画祭 2015」 プレイベント 劇団「ハイバイ(代表 岩井秀人)」の香川県庁舎南庭での公演について

「さぬき映画祭 2015」に新たに演劇が加わります。他の映画祭にない全国初の試みとして、映画と演劇がコラボレーションします。『演劇を映像化したものが映画』であるとの本広ディレクターのコンセプトのもと、「さぬき映画祭」に映画と親和性の高い演劇の要素を取り入れたプログラムに発展します。

この度、本番に先駆けて、さぬき映画祭 2015 の PR と、新企画である演劇とのコラボの試みとして「さぬき映画祭 2015」プレイベント 劇団「ハイバイ(代表 岩井秀人)」の公演を香川県庁舎南庭で開催します。

本広ディレクターが高く評価する劇団「ハイバイ」は、日本を代表する人気劇団で、今回の公演の演目「靈感少女ヒドミ」は、舞台装置の代わりにプロジェクションマッピングの映像を用いる、まさに映像と演劇がコラボした作品となっています。

また、会場設定の自由度が高い演目で、ホール以外でも上演が可能なため、より革新的で魅力的な舞台として全国の演劇ファンも注目する公演とすべく、世界的な建築として評価を得ている「アート県かがわ」のシンボルであり、「県民に開かれた庁舎」の理念のもと設計された香川県庁舎南庭での公演となりました。

さらに、本公演の模様をドキュメンタリー作品として撮影し、映画祭で上映することも検討しています。

なお、本公演の概要は次のとおりですが、詳細は確定次第「さぬき映画祭」ホームページで順次公開いたします。

### ●公演概要

○日時：平成 26 年 11 月 11 日(火)、12 日(水)の夜      ○場所：香川県庁舎南庭

○公演時間・回数：各回 1 時間程度、各日 2 回公演

○劇団名：「ハイバイ」代表 岩井 秀人      ○演目：「灵感少女ヒドミ」

○入場予定者数・鑑賞料：各回 70 人程度      3,000 円程度

○入場券販売開始：8 月末

○劇団プロフィール

- ・いま最もチケットがとれない人気劇団といわれる劇団「ハイバイ」は、演劇ファンに限らず普通の人も楽しめる演劇に取り組んでいます。
- ・そもそも気まずいシチュエーションに、なんとも要領の悪い人や空回りするくらいの自意識を振りまく人、どこか世の流れに上手く乗っていけない感じの人たちが現れて、あたふたしているうちに目も当てられない状況になっていくのを笑っていると、まんまと人生の深淵を覗かされてしまうのがハイバイ。
- ・全国各地で公演を行っており、これまでに香川では四国学院大学で公演を行っています。

○代表岩井秀人プロフィール

- ・1974 年生れ、東京都出身、桐朋学園大学演劇学科卒業、2003 年 劇団「ハイバイ」設立、2007 年 劇団「青年団(代表平田オリザ)」演出部所属
- ・2012 年 四国学院大学演劇コースのレジデンスプログラム講師
- ・TV ドラマ BSNHK「生むと生まれる それからのこと」で第 30 回向田邦子賞受賞
- ・2013 年「ある女」で第 57 回岸田國士戯曲賞(演劇界の芥川賞とも評されている)受賞

## ○演目内容

### 劇団「ハイバイ」「靈感少女ヒドミ」2014

本作品はムーチョ村松の映像をプロジェクションマッピングで投影し、俳優の演技と融合させる画期的な演劇作品です。舞台セットは白いパネルとイスのみで、以下の写真では俳優とイス以外すべてが映像です。2005年が初演で、2012年のリメイク版（岩井秀人×ムーチョ村松）は三重県文化会館で創作され、東京・三重2都市で1,100名以上を動員しました。2014年のツアーでは、香川のほかに東京、名古屋、兵庫、北海道で上演します。

#### 【あらすじ】

多摩地区のはずれ、米軍基地付近の国道16号沿いのマンション。ヒドミは今日も、自分が何故ここに住んでいるのか、何故生きているのか、分からない。話しかけるのは、部屋にすむ亡霊達。恋の話。

